

兵庫県水産技術センターだより

漁場環境情報（速報値）SG-GJ-3002号

2018.2.5発行

【概況（2018年1月31日、2月1日の調査結果）】

播磨灘の水温は平年に比べ、表層-0.8℃、10m層で-0.8℃、底層で-0.9℃となっており、全観測層で「やや低め」の値です。塩分は全観測層で「やや低め」の値を示しています。透明度は「平年並み」の値となっています。表層の栄養塩濃度は、窒素は「やや低め」、リン及びケイ酸は「平年並み」となっています。

播磨灘の植物プランクトン発生状況は、北部沿岸域でキートセロスやユーカンピアゾディアクスが優占していますが、発生量は全般に少なめです。ユーカンピアは、今後増加する可能性もありますので、ノリ養殖管理にはご注意ください（ノリ養殖環境速報も参考にしてください）。

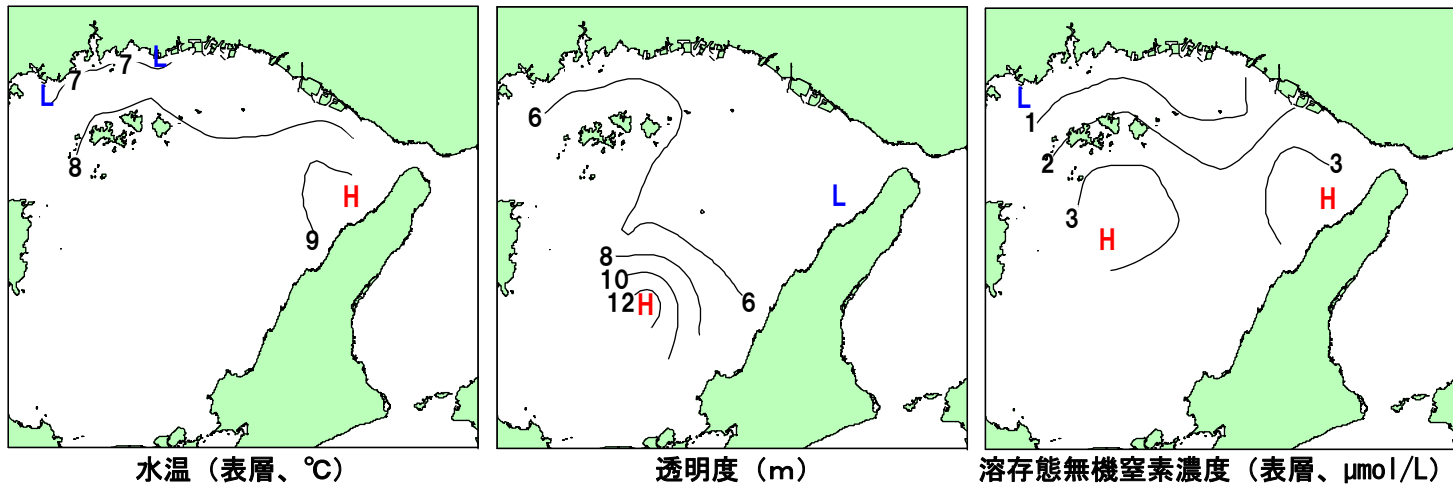
2018年2月1日に大阪管区气象台が発表した近畿地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は低い確率が60%、降水量は平年並み又は少ない確率が40%、日照時間は平年並みの確率が40%の見込みで、今後の表層水温は低めで推移すると考えられます。

*明石海峡等の水温予報が公開されています（沿岸海域水質赤潮観測情報ポータルサイトを検索→瀬戸内海→水温予報）。

（パソコン）<http://akashiwo.jp/>

（携帯）http://wttyoho.bioweather.net/i/yoho/yoho_t_akashi.html

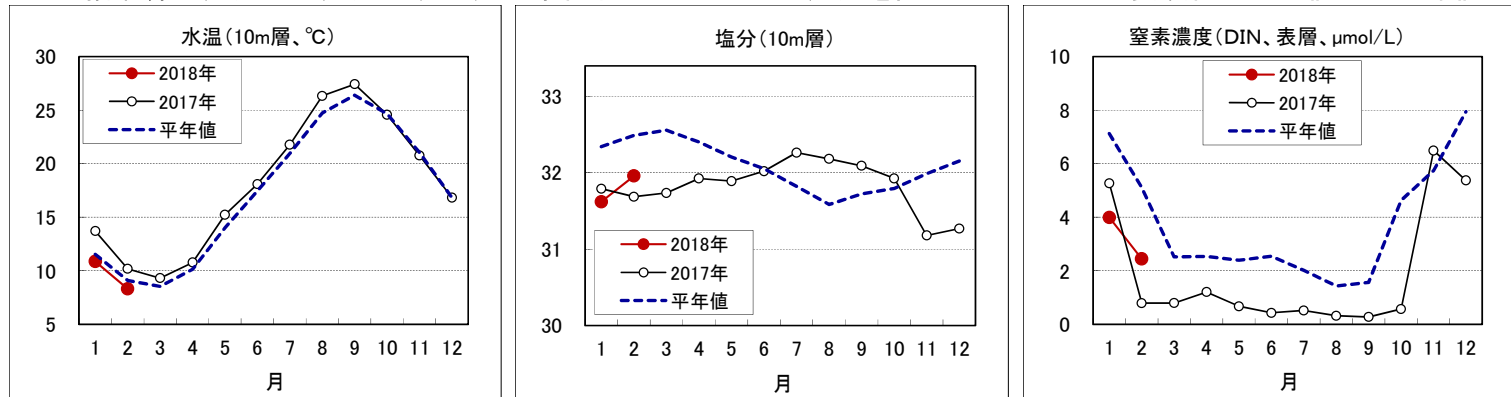
表層水温、透明度及び溶存態無機窒素（DIN）濃度の分布（播磨灘）



水温は低めで推移しています。ノリ養殖管理では、ユーカンピアの動向にご注意下さい。



播磨灘15定点（19定点のうち、北部沿岸のH27～H30の4定点を除く）における主要項目の平均値及び平年値



年月	項目	2017	2018
		2月	1月
水温	観測値	10.2	10.9
°C	平年値	9.1	11.5
塩分	観測値	31.69	31.62
	平年値	32.49	32.34
透明度	観測値	7.2	7.5
m	平年値	6.7	7.1
窒素	観測値	0.8	4.0
μmol/L	平年値	5.1	7.1
リン酸	観測値	0.29	0.51
μmol/L	平年値	0.47	0.64
クロロフィルa	観測値	5.4	2.0
μg/L	平年値	2.3	1.7
降水量	観測値	31.0	36.0
姫路mm	平年値	51.7	35.9

注）何れの項目も15定点の平均値。水温、塩分は10m層、他の項目は表層水の値。各項目の平年値は1981～2010年の平均値。

降水量（姫路）の平年値は1981～2010年の平均値（気象庁データから） 次号は2018年3月5日頃発行の予定です。

お問い合わせ先 兵庫県立農林水産技術総合センター 水産技術センター（担当：水産環境部・原田和弘、宮原一隆）

Tel：078-941-8601 Fax：078-941-8604 E-mail：Nouringe_suisan@pref.hyogo.lg.jp Homepage：http://www.hyogo-suigi.jp/